

ふじみ野

No. 44

H29.2.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

市議会だより

- 大井総合体育館・武道館を
リフォーム、バリアフリー化、耐震化!** 2p
- 手話への理解を深め、ろう者の生きる力を培う** 5p
手話言語条例を制定
- ICTを活用して、より魅力ある議会へ** 7p
- 市政を問う! 一般質問 20人が政策論議** 8p



働く人シリーズ②③市登録手話通訳者

手話を使って生活するろう者が、色々な人と接する様々な場面で、お互いの話が正確に伝わるよう、必要とされるところに出向き、手話でのコミュニケーションをサポートします。

関連記事: 14ページ

本定例会では、一般会計補正予算、手話言語条例、空家等対策の推進に関する条例など市長提出議案25件すべてが可決されました。

一般会計補正予算の中では、とりわけ大井総合体育館及び武道館大規模改修工事、市内循環バス運営事業、旧福田屋・旧大井村役場改修工事について活発な議論が交わされました。

また、請願が1件提出され審議の結果、不採択となりました。議員提出議案5件は、うち1件が可決されました。

大井総合体育館・武道館を リフォーム、バリアフリー化、耐震化！

平成28年度 一般会計補正予算

問 消費税率8%への引き上げによる市民への影響との関係は。

答 消費税及び地方消費税率の引き上げ分については、すべて社会保障財源になる。

今回の補正予算では、平成26年4月の消費税及び地方消費税の引き上げによる影響を緩和するため、低所得者に対し暫定的・臨時的な措置として給付金を支

給する2億5031万3千円を計上している。所得の少ない家計ほど食料品の消費割合が高いことを踏まえた制度となっている。

地方債の 財政運営への影響

問 地方債の現在高は400億円を越える見込みだが、財政運営への影響や今後の対策については。

答 臨時財政対策債や合併特例債等、財政的に有利な地方債を活用している。地方債のうち、市の実質的負

担は、4分の1程度の約90億円になる見込みである。

大井総合体育館等 の大規模改修工事

問 改修中の代替措置、改修後の施設活用は。

答 代替措置として、市内の他の体育館、学校施設の開放の利用者による調整や、スポーツ施設相互利用協定を結んでいる三芳町、富士見市に施設利用の依頼を行っている。また、旧福岡高校体育館の改修時期をずらし、代替施設として利

用する予定である。

現在スポーツ推進計画を策定しているが、改修後の施設を活用し、乳幼児、子ども、障がい者、高齢者のスポーツの推進、ジュニアアスリートの発掘・育成を進めたい。

公共施設適正配置 計画との関連は

問 平成22年9月に公共施設適正配置計画が定められているが、合併後の10年

間で社会情勢にも変化が生じ、考慮すべき事情も変化していると考えられる。市の見解は。

答 公共施設適正配置計画では、新施設を建設して統廃合を行う計画になつていたが、建設資材、労務単価の高騰などで新施設建設には、体育施設等の場合で30〜40億円ほどの多額の財源を要すると想定される。策定当時と現在のこのような情勢の変化により考慮すべ

き事情は大きく異なっている。

統廃合の必要性は認めつつも、公共資産の転用、長寿命化という手法も検討すべきで、当初の計画の再検証が必要と考えている。

◆議案に対する総括質疑

青藍会 渡辺 大議員
日本共産党 新井 光男議員
公明党 島田 和泉議員
民進無所属の会 民部 佳代議員

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決

… 平成28年度補正予算 …

- ◎一般会計（第4号）
- ◎一般会計（第5号）
- ◎国民健康保険特別会計（第2号）
- ◎介護保険特別会計（第2号）
- ◎介護保険特別会計（第3号）

以上、可決

… 条例の制定 …

- ◎生きがい学習推進計画審議会条例
- ◎手話言語条例
- ◎空家等対策の推進に関する条例

以上、可決

… 条例の一部改正 …

- ◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◎市税条例の一部改正
- ◎市立体育館条例の一部改正
- ◎国民健康保険税条例の一部改正
- ◎市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正
- ◎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◎市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正
- ◎職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

以上、可決

… 契約の締結 …

- ◎上福岡清掃センター解体及び跡地整備工事請負契約の締結
- ◎旧埼玉県立福岡高等学校校舎等解体工事請負契約の締結
- ◎第2庁舎大規模改修工事請負変更契約の締結
- ◎大井中学校校舎大規模改造工事請負変更契約の締結

以上、可決

… 人 事 …

- ◎教育委員会委員の任命
- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

以上、同意

… そ の 他 …

- ◎道路線の廃止（1件）
- ◎市立産業文化センターの指定管理者の指定
- ◎市立児童センターの指定管理者の指定

以上、可決

… 請 願 …

- ・年金削減をする「年金制度改革関連法案」の廃案を求める意見書提出を求める請願

不採択

… 意 見 書 …

- ◎アスベスト問題の早期解決を求める意見書

可決

- ・労働時間の規制強化を求める意見書
- ・航空自衛隊入間基地の海外展開拠点化に反対する意見書
- ・カジノを解禁する「統合型リゾート（IR）」の整備中止を求める意見書
- ・南スーダンから自衛隊を速やかに撤退させ人道支援・民生支援に切り替えることを求める意見書

以上、否決

ふじみ野市体育協会 チャレンジ教室の様子

より便利に、安全に、使いやすく

スポーツ施設管理運営事業

補正額 4億7824万3千円

学校施設環境改善交付金を活用して大井総合体育館と武道館が改修されます。

●主な質疑

問 改修工事の概要は。

答 平成29年4月から工事に入り10月頃に完成の予定。老朽化した屋根やアリーナを全面改修する。

問 利用者団体や体育協会などの要望や意見を取り入れたものになっているか。

答 設計に当たって利用者、スポーツ団体、体育協会などの意見を取り入れる。さらに安全性の確保、施設の機能向上、バリアフリー化を全面的に行い、障がい者、高齢者が気軽に使える施設にしている。



障がい者チャレンジスポーツ大会

市内循環バス運営事業

補正額 863万5千円

市内循環バスの路線の見直しに伴う新たな停留所の設置等が提案されました。

●主な質疑

問 平成29年度の本格運行でどのように変わっていくか。

答 東武東上線の踏切を通行すると渋滞による遅延があるのでコースを見直す。また駅へのアクセスを求める要望が多いので、駅への往来をしやすくする。さらに片周りではなく双方向での運行を行うとともに、乗り継ぎに配慮した運行計画を考えている。

問 コースマップをカードサイズにしたりスマートフォンで確認できるように工夫できないか。



市内循環ワゴン「ふじみん号」

答 提案された内容について、他市の事例を参考に検討する。

問 利用者を増やしていくために、どのようなことを考えているか。

答 要望があるので、可能なところはバス停を増やしていきたい。コストとの兼ね合いもあるが、増便やコースの変更など改善を続ける。

文化財保護事業

補正額 892万1千円

観光地域づくりのため歴史的建造物である回漕問屋福田屋及び旧大井村役場が改修されます。

●主な質疑

問 旧福田屋及び旧大井村役場の改修工事について文化財保護上の制限はあるか。

答 特に制限はない。また福岡河岸から権現山古墳群までの周辺一帯の整備については、緑の基本計画に基づき行っていく。



福岡河岸記念館で行われたまちなかの演奏会

条例制定

全員賛成で可決

空家等対策の推進に関する条例 空き家の適正管理と 利活用に向けて

空家対策に関する庁内検討委員会に加え、新たに有識者等で構成される協議会を設置し、空き家等対策計画の策定・空き家バンクの創設などの取り組みが始まります。

●主な質疑

問 ＊特定空き家の調査方法は。

答 国の特定空き家判定のガイドライン等に基づき特命事項担当職員3名で調査を実施した。今回の調査で空き家と判定をした819件のうち、特定空き家の基準に該当すると考えられるものは15件である。

問 特定空き家に指定されると税制上の問題などが出てくるのでは。

答 特定空き家については、助言、指導、勧告、命令と順を追って対応していく。勧告に至ると、税制上の特例措置の対象から外されてしまうの

で、事前に所有者に通知し対応していきたい。

問 空き家と跡地活用について、今後どのように考えているか。

答 空き家であろうと判定したところにアンケート調査を実施中である。その中で空き家バンク制度の活用などをお知らせしていく。

問 条例では市民に情報提供を求めているが。

答 苦情も含め、さまざまなことでも地域住民から情報を頂けると、現地調査も実施できるので広い意味で役立つと考える。

※放置すると保安上・衛生上の問題などが起こるおそれがある状態の空き家

条例制定

全員賛成で可決

手話言語条例 手話への理解を深め、 ろう者の生きる力を培う

手話が言語であるという認識に基づき、手話に対する理解と普及を目指し、市の責務や市民の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策が推進されます。

●主な質疑

聴覚障がい者等の意見を反映

問 本条例の特徴は。

答 目的や基本理念は県条例と同趣旨となっている。本条例では、学校における手話の普及や事業者への支援、手話による文化芸術活動の振興等が特徴となっている。なお、策定に当たっては、聴覚障がい者団体や手話サークルとの話し合いの内容を条文に反映させるとともに、前文については、これらの団体に原案作成をお願いした。

問 手話の普及・啓発の取り組みは。

答 従来からの手話通訳者養成講座や、はじめての手話入門講座を継続して行うとともに、関係団体と連携しながら、講習会、職員研修の充実、イ

ベント等を実施していく。

平等な社会参加を実現する

問 手話を用いない聴覚障がい者への対応は。

答 要約筆記者の派遣や、音の増幅機器の活用、集団補聴システムの貸し出しを行っている。障害者手帳の交付対象にならない児童に対しては、一定要件のもと補聴器購入費を助成している。

問 手話以外のコミュニケーション支援は。

答 障がいの特性に合わせ、要約筆記のほか、点字への翻訳や活字の音声化を行っている。また、障がい福祉課が配布

する書類には、音声コードをできるだけ添付するように努めている。

問 緊急時の対応は。

答 救急搬送時には、消防組合と連携して速やかに手話通訳者を派遣できる体制となっているとともに、平成28年からは警察とも連携している。また、タブレット端末やスマートフォンを活用により、遠隔での手話通訳支援の体制を整え、閉庁時でも緊急対応を可能としている。災害時における対応については、今後、手話通訳者との連携や派遣を検討していく。



手話講習会

ICTを活用して、より魅力ある議会へ



大津市の議会改革に関する調査

議会活性化の先進地に学ぶ

議会運営委員会では、平成28年8月4日・5日に滋賀県大津市及び滋賀県湖南市を調査しました。

大津市議会では、議員の質問時には、資料をスクリーンに投影し、テレビ放映もされています。議会が地元大学とパートナーシップ協定を締結し、政策検討会議でのアドバイザーなど専門的知見を多様に活用しています。ふじみ野市では、文京学園と包括的な連携協定を締結していますが、今後は議会との協定についても検討が必要と考えられます。また、タブレット端末の導入等ICT化を進めることで経費の削減、情報の共有化、さらには議会運営の効率化が図られています。

タブレット端末の導入で経費削減を

議会ICT化検討会議では、平成28年10月17日に飯能市議会を調査しました。ふじみ野市議会においても、タブレット端末の導入を検討し、ペーパーレス化による経費削減や議会運営の改善、議会の見

える化を目的として、現在本格導入に向けた議論が進められています。

タブレット端末は、議場で使用することを中心に考えながらも、通信方式は、外出先で情報を受け取れるセルラー方式を検討しています。ランニングコストについては公費だけではなく議員の私費負担も行い、運用に必要なルールを作成し、本格導入に向けた、ふじみ野市議会流の議会活性化に取り組んでいく予定です。

なお、議会ICT化検討会議では、今後は議会インターネット放映も視野に入れ、研究・検討を行っていく予定です。



飯能市のタブレット端末活用事例を調査

議会運営委員会

内容：議会ミッションロードマップ及び議会改革について

場所：滋賀県大津市

内容：議会事業評価及び議会改革について

場所：滋賀県湖南市

議会ICT化検討会議

内容：議会におけるタブレット端末の導入について

場所：埼玉県飯能市

各常任委員会視察調査報告

総務常任委員会

内容：決算重視の取組と予算との連動

場所：兵庫県川西市

内容：統一的な基準による地方公会計制度の活用

場所：京都府精華町

市民・都市常任委員会

内容：アートを利用した地域振興について

場所：香川県小豆島町

内容：水道事業について

場所：兵庫県赤穂市

福祉・教育常任委員会

内容：コミュニティスクールについて

場所：三重県いなべ市

内容：認知症予防事業及びウェルネスバレー構想について

場所：愛知県大府市

地域探訪

川でつながる

心の交流



昭和7年当時の福岡河岸と養老橋
上福岡歴史民俗資料館所蔵

約350年前の江戸初期から昭和初期まで川越と江戸を結ぶ川の道がつくられ、長きに渡り荷物や人、そして文化を運んできました。ふじみ野市にも「福岡河岸」と呼ばれる船着き場が整備され、船問屋を中心に店や職人が集まり町並みが形成されました。市内の歴史を現代に伝える「福岡河岸」を大事にしていきたいものです。

福岡河岸と古市場河岸の周辺 上福岡歴史民俗資料館 第8回特別展図録より



江戸屋

福岡河岸開設当時の船問屋と伝えられる。明治期に至るまで代々三之助と名乗り、明治末年頃に廃業した。

吉野屋

福岡河岸開設当時の船問屋と伝えられる。昭和6年の新河岸川通船停止令により廃業した。

福田屋

福岡河岸開設当時の船問屋である門左衛門の株を借り受け天保2年に開業し、明治末期に廃業した。

参考文献：上福岡歴史民俗資料館 第23回特別展図録

編集委員が訪ねました

平成28年下半年(7月～12月)の議長の主な公務

7月	2日(土)	ふじみ野市体育協会設立十周年記念式典
	22日(金)	ふじみ野市・三芳町環境センター視察 防衛省全国情報施設協議会総会・意見交換会 (参議院議員会館ほか)
	24日(日)	第16回おい祭り
8月	6日(土)	第62回上福岡七夕まつり
	19日(金)	埼玉県市議会議長会第二区議長会新旧正副議長研修会(富士見市)
	21日(日)	ふじみ野市市民スポーツ大会総会開会式 第8回福岡河岸まつり
	28日(日)	第37回九都県市合同防災訓練 「埼玉県・ふじみ野市総合防災訓練」
10月	14日(金)	防衛省情報施設振興議員連盟役員並びに総務省・防衛省への要望活動・意見交換会(参議院議員会館)
	19日(水) 20日(木)	全国市議会議長会研究フォーラム(静岡市)
	23日(日)	市民文化祭
	24日(月)	東入間防犯・暴力排除推進大会(富士見市)
11月	1日(火)	ふじみ野市・三芳町環境センター竣工式典
	3日(木)	第7回産業まつり
	4日(金)	戦没者追悼式
	15日(火)	西部農事研修会立毛審査会及び表彰式 大井営農研究会立毛審査会及び表彰式
12月	3日(土)	障害者週間記念事業「第21回ふれあい広場」
	10日(土)	民生委員・児童委員退任式及び委嘱状伝達式 東入間地区交通安全フェア(三芳町)



小高時男議長

議長公務日程を公開します

平成28年下半年

議長は、議会の選挙によって選ばれます。議場の秩序の保持、議事の整理や議会の事務を統括するといった議会運営に関するさまざまな仕事に議長はあります。

その一方で、市議会を代表して国や県との折衝をしたり、地域のイベントに出席したりすることも、議長の重要な役割の一つです。本号では平成28年下半年の議長の主な公務を公開します。

な役割の一つです。本号では平成28年下半年の議長の主な公務を公開します。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、20人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（2月下旬掲載予定）

児童虐待防止を目指して

新井光男 議員

問 児童福祉法の改正を受けて、専門窓口業務を拡充すべきでは。

答 川越児童相談所の地域対応強化パイロット事業に参加し、専門性の向上に努めている。

問 専門職員を重点的に配分してはどうか。

答 子育ての不安への軽減を図り、児童虐待へのリスクを早期に発見する支援の構築を図るため、児童福祉事業全体を考慮した人員配置を検討する。

問 役所の枠を超えて地域が一丸となつて対処できるような、子育てしやすいまちづくりを実現すべきでは。



答 児童福祉法の改正で市町村の体制強化が規定され、子育て世代包括支援センターが法制化された。当該センターの開設に向けて取り組んでいる。子育て世代包括支援センターを核に地域連携を深め、ネグレクトを含めた要支援児童等の早期発見に努める。

元福岡地域の雨水対策

大築 守 議員

問 平成27年に設置した雨水排水ポンプのメンテナンスは。

答 ポンプの整備を年1回、貯留ピット内の清掃を年3回、動作確認を年5回実施。雨の後もごみを除去するためのスクリーンの清掃をし、急な降雨に対応できるように備えている。

生産緑地の指定解除

問 2022年から始まる生産緑地の指定解除、今後の人口動態をどのように考えるか。

答 市内に397筆の指定箇所があり、全て住居系の用途地域内にある。また、空き家が増加することが想定されるので、良好な生活環境を築けるように取り組む。

旧福岡高校の跡地の利活用

問 今後の計画は。

答 運動公園の改修・整備内容を見て、有効活用を検討する。

問 旧新河岸川の利用は。

答 旧福岡高校を公園化する中で遊歩道を整備したい。富士見市との行政界が明確になり、旧河川の管理区分が明確になった後に検討していく。

運動公園を結ぶ歩行者用の橋の設置計画は。

答 橋の設置は便利であり、今まで以上に有効な活用が可能なのは理解している。県との協議も必要で、引き続き研究していく。

長時間にわたる水害対応に支援を

島田典朗 議員

問 水害対応に従事する消防団の活動に対する支援体制は。

答 近隣の集会所やトイレを開放しているが、水位の上昇により使用できないことがあり、地域において協力場所を探している。また、隣接する他市小学校についても借用できるようにした。

乳児用液体ミルクの普及を目指して

問 液体ミルクは、粉ミルクと異なり、ほ乳瓶の消毒を要せず、お湯も水も不要であることから、被災地で活躍した実績があるが、日本では製造販売されていない。まずは、防災備品に導入しては。

軽量素材の採用で、より安全な天井へ

問 落下防止のために布素材を使用した膜天井など、軽量素材の天井に切り替えていく考えは。

答 今後の改修工事等の中で、軽量材等の採用を含め、天井の落下防止対策を検討していきたい。



市ホームページの最大限の活用を

渡辺 大 議員

問 ホームページは市民への告知に劇的な効果を発揮する可能性のあるツールであり、その潜在能力を最大限発揮させるべき。第一弾として、企業広告の効果検証を行っている。

答 ホームページの重要性については、同様の認識を持っている。アクセス解析、企業へのヒアリングなどにより企業広告の広告効果を検証する。

防災隠しへの対策は

問 市発注の公共工事での防災隠しへの対策は。

答 担当課から周知を図る。

福祉タクシー券の郵送

問 視覚障がい者等が福祉タクシー券を取りに直接出向くのは負担となる。郵送対応は可能か。

答 事情によっては郵送を検討する。

おしゃれなテナントの誘致を

問 調整池の多目的活用（ボール遊び、バーベキュー等への開放）、福岡中央公園への市のブランドを高めるおしゃれなテナントの誘致について、その後の取り組みは。

答 先進地への調査などを行っており、引き続き研究する。

一般質問

問 生活習慣病の早期発見と早期治療への対応を図るため、将来を担う子どもたちの健康管理の一環として、健康診断時の血液検査を導入する考えは。

答 健康診断時の血液検査は、生活習慣病の低年齢化に対応するためには有益な検査だと認識している。

実施方法や費用等の課題もあるので、今後総合的な視点で検討していきたい。



おしゃれなカフェのある公園

児童・生徒の健康管理に血液検査の導入を

問 生活習慣病の早期発見と早期治療への対応を図るため、将来を担う子どもたちの健康管理の一環として、健康診断時の血液検査を導入する考えは。

答 健康診断時の血液検査は、生活習慣病の低年齢化に対応するためには有益な検査だと認識している。

実施方法や費用等の課題もあるので、今後総合的な視点で検討していきたい。



勝瀬小の防災訓練

行政界を越えた地域交流

西 和彦 議員

問 苗間みほの地区から富士見市の勝瀬小学校に100人を超える児童が通学しており、勝瀬小学校区の防災訓練等にみほの町会も参加をするといった地域交流が行われている。

この交流についての市の考えと今後の支援策は。

答 市の境を越えた近隣自治体との交流や連携は、防災や防犯等の地域課題の解決に必要である。

問 生活習慣病の早期発見と早期治療への対応を図るため、将来を担う子どもたちの健康管理の一環として、健康診断時の血液検査を導入する考えは。

答 健康診断時の血液検査は、生活習慣病の低年齢化に対応するためには有益な検査だと認識している。

実施方法や費用等の課題もあるので、今後総合的な視点で検討していきたい。

民生委員制度創設100周年

堀口修一 議員

問 民生委員制度は、平成29年に制度創設100周年を迎える。制度への理解がさらに広がり、民生委員への協力支援体制が深まるよう積極的な広報活動を。

答 民生委員・児童委員が地域福祉の中核として力を十分に発揮できるよう、活動の紹介など積極的に啓発・広報に努めていく。

問 固定資産税納税通知書に、空き家対策に関する情報を同封できないか。

答 4万通を超えるため困難であるが、検討していきたい。

問 空き家の活用に当たってNPOや事業者との連携は。

答 埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部との協議を進めている。

問 ふるさと納税の返礼品として、空き家管理代行サービスを。

答 検討に当たり、シルバー人材センターと協議していく。



空き家対策の推進を

問 実態調査で得られた情報を地域に還元すべきでは。

答 法的な制限があり困難であるが、限定的に還元していきたい。

旧新河岸川の自然環境保全

山田敏夫 議員

問 旧新河岸川の自然環境を保全し、生かしていくための構想と施策は。

答 旧新河岸川は、富士見市との境界及び管理区分についての協議が確定していない。協議が整った後、親水空間などの自然環境を保全し、生かしていくための構想と施策について研究していきたい。

県文化財の指定に向けて

問 回漕問屋福田屋及び江戸屋が県文化財の指定を受けられる見通しは。

答 福田屋については、県による近代和風建築総合調査の3次調査の対象になり、県文化財の指定を受けられる可能性が高いと考える。

江戸屋については、平成28年度の市の調査により文化財として非常に高

い価値があると判明したので県文化財の指定を受けられるように積極的にアピールしていきたい。

農業振興と市民農園

有山 茂 議員

問 市民農園の今後の計画は。

答 平成28年に7カ所目を開設した。適地を選定し増設を検討をしている。

問 平成28年6月に農業振興策としてのブランド化に対する補正予算を計上し



無電柱化の推進を

民部佳代 議員

問 災害時に電柱が倒れ緊急車両の通行を妨げたり、狭い道路では歩行者が電柱を避け車に接触するなどの事例がある。災害・事故対策と魅力ある

街づくりのために無電柱化推進計画を策定しては。

答 平成28年2月に電線の埋設深さの基準が緩和された。国の動向に注視しながら研究したい。

仕事と介護の両立支援

問 仕事があっても週末に親のことを相談できるよう、高齢者あんしん相談センターの土曜日、日

成し、三芳町との協議を行う予定。設計委託料は本市87%、三芳町13%の負担割合となっている。

自転車の交通安全対策は

問 自転車通行環境の整備は。

答 平成28年10月に条例ができた。安全な自転車通行環境の整備に向け、取り組みを進める。

青少年の深夜徘徊の実態

谷 新一 議員

問 少年非行について、深夜徘徊するグループの存在やたむろする場所等の実態は。

答 犯罪を犯した非行少年の数は減少傾向にあり、市内居住では、平成26年は42人、平成27年は

31人となっている。また深夜徘徊する非行少年グループや活動場所等は、警察の捜査活動上、詳細は公表されていない。ネット環境の普及により地元で固執せず広域化し、少年同士のつながりも複



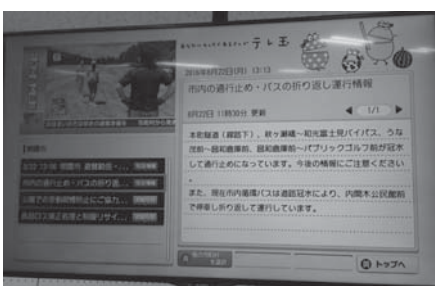
上福岡駅西口から見た風景



加工したもの

テレビで市の防災情報

鈴木啓太郎 議員



データ放送に流れる防災情報

市民が教育ローンを借りた場合その利子の一部を補填する利子補給制度の導入を考えるべきでは。

答 本市では経済的な理由で進学が困難な方に奨学金、入学準備金の貸し付けを行っているが、教育ローンは多くの方が利用しており、利子補給方式に多くのメリットがあると認識している。

地域福祉計画の次年度の課題は

問 地域福祉の次の課題として、包括的な総合相談をするなどの課題に取り組みべきでは。

答 複雑化し複数の課題を抱える世帯は地域全体で支える必要がある。地域福祉の核となるコミュニケーションソーシャルワーカーの配置を含め、新たな地域包括システムを検討する。

子育て支援センターの役割と今後

床井紀範 議員

問 子育てコンシェルジュの役割、配置による効果は。

答 相談の対応・課題整理を行い、子育て支援機関と連携し、事業を行っている。「困っている」というサインに気づき、悩みが小さいうちから関わることで、予防的効果もある。

問 今後の計画は。

答 子育て支援センターの事業を円滑に実施するため、事業の拡充を検討している。

要支援1・2の介護予防・日常生活支援総合事業

問 現行の訪問型・通所型サービスは、来年度からどのように変わるのか。

答 平成29年4月から、従来の介護予防の訪問介護及び通所介護は、介護予防・日常生活総合支援

事業において、訪問介護及び通所介護に変更される。ただし、平成29年3月末日までに要支援の認定を受けていれば、その有効期限まで従来のサービスが受けられる。

コミュニティ・スクールの周知を

川畑京子 議員

問 本市が目指す地域協働学校（コミュニティ・スクール）を推進していく中で、基本理念や方向性、具体的な内容の周知、広報活動は大変重要と考えるが。

答 全教職員への説明会を平成29年度に予定している。また、モデル校として指定する上野台小学校、東台小学校の具体的



英語教育の取り組み

問 未来へ向けた英語教

災害対策本部と議会との連携

問 災害時における市災害対策本部と議会との関係は。

答 議会と行政は情報を共有し、連携していくことが望ましい。他市町村では災害時の議会・議員の役割を示した対応マニュアルを定めているところもあり、今後の研究課題とする。

育の取り組みはどのように行っているか。

答 これからの国際社会を生きる子どもたちに、英語力を身につけることは大変重要である。小学校3年生から中学校3年生までの外国語活動と英語のなめらかな接続を図るとともに、学習到達目標であるCan-Doリストを作成。電子黒板とデジタル教科書を生かし、音声や映像を使い学ぶ意欲の向上や指導方法の工夫に努めている。

国の教育ローンに利子補給制度を

問 若者支援のために国レベルで給付型奨学金の再検討がされているが、

結婚するならふじみ野市

加藤恵一 議員

問 ふじみ野市PR大使ふじみんを活用した婚姻届・出生届を発行しては。
答 平成27年度の婚姻・出生届の処理件数は、合計2124件となっている。費用対効果も考慮し、提出用・記念用届出書と両面から検討を進めている。

ふじみ野版ふるさと納税

問 ふるさと納税の導入後の状況は。
答 平成28年度、ふるさと納税寄付金額は、当初予算で50万円を見込んでいたが、11月30日現在で90万円、件数は79件と見込みを上回る状況となっている。
市民から愛される地域公共交通へ
問 市内循環ワゴンにキヤラクターデザインのラッピングをしては。

答 平成28年8月から9月にかけて愛称を募集、応募の中から愛称を「ふじみん号」に決定、現在



京都府精華町の出生届（一部抜粋）

認知症になっても安心なまちに

伊藤美枝子 議員

問 認知症介護のアンケート調査を行っては。
答 認知症高齢者や家族を含めた実態をアンケート調査で把握する。
問 介護予防拠点の整備を。
答 介護予防・日常生活支援総合事業の実施にあたり、空き家対策での空き家の活用や介護事業所との連携等を検討する。
問 認知症の人を見かけたときの、情報伝達や声掛けの模範訓練を行っては。
答 前向きに検討していきたい。

踏切に歩道の拡幅を

問 丸山と駒西間にある踏切が狭く、歩行者などが大変危険。歩道を拡幅し安全確保を。
答 歩行者・自転車利用者の安全・安心を確保するため、川越県土整備事務所に要望していく。
ひきこもり支援をどうするか
問 ひきこもりの把握をするには。
答 地域のネットワークや訪問支援などで積極的

市内循環ワゴン利用料の減免制度拡充を

伊藤初美 議員

問 1回200円の利用料は民間路線バスより高い区間がある。高齢者の減免制度の復活を。
答 運賃収入は、循環ワゴンの経営を持続的に支える財源なので、利用者に一部を負担してもらうている。減免の拡大は考えていない。

問 空白地域でも、利用が極めて少ない路線や時間帯は、実証運行の結果を見て検討していく。
三芳スマートIC大型車通行問題
問 市民へ事業を周知するために、説明会を行わないのか。
答 実施の予定はない。
問 国土交通省はフル化



の条件を地域住民の理解を十分に得ることとした。あと2年で、この条件が満たされるのか。
答 主要なアクセス道路における必要な対策箇所の協議は、昨年度から近隣市町などと調整している。平成30年度末の供用開始に向けて必要な対策を進める予定である。

高齢者に活躍の場を

小林憲人 議員



「農」ある風景

自ら学ぶ力を
育む教育の推進を

問 農業の担い手不足や遊休農地対策として、元気な高齢者が農業を手伝う、援農ボランティア制度の導入を。
答 都市近郊地域で当該制度が実施されている。課題を精査し、他の自治体を参考にし、検討する。

小・中学校のICT環境の整備状況は

島田和泉 議員

問 市内小・中学校のICT環境整備状況は。
答 各学校にデスクトップPCを40台、学校規模に応じノートPCを10、30台、電子黒板や書画カメラを各5、6台設置している。無線LANは全校に構築済み。タブレット

端末は平成27年度、小学校4校に各40台導入した。
問 ICT環境整備の今後の計画及び年間の維持費は。
答 市内全小中学校にタブレット端末を導入する計画。平成29年度に小中

学校9校、平成31年度に6校へ導入予定。市内全19校の年間維持費はリース料、修繕費、消耗品費等で約1億6千万円となる。
問 生涯学習や地域活動への設備利用は。
答 地域と共に子どもたちを育む「共育」を推進する本市として重要なことと捉えている。今後情報セキュリティの観点から十分に考慮し、慎重



電子黒板を使った授業風景

に検討したい。



丸山 - 駒西間の踏切

保育所など子育て支援の充実を

塚越洋一 議員

問 平成29年4月時点の待機児童・入所保留児童の予測人数は。
答 平成28年度同様に増加傾向を示している。入所申請が行われたところで予測が困難な状況である。

問 3歳未満児の定数増対策と保育所新増設計画は。
答 認定こども園と小規

オスプレイ飛来の問題

問 米軍オスプレイが平成28年10月22日と23日に本市上空に飛来した。市として抗議を。
答 安全飛行の徹底や横田基地配備については、県基地対策協議会を通じて要望していく。

旧福岡高校跡地活用時の
住環境変化への対応

問 旧福岡高校跡地の公園化に伴う、福岡地域の

問 花の木中学校安全マップも指摘している水天宮交差点・ABC公園付近の歩道整備を。
答 総合都市交通体系調査結果を踏まえ、交通安全対策を研究する。



全できるように、一体的整備構想をもつべきでは。
答 地方創生拠点整備交付金の申請を行い、建造物・敷地を中心に保全を図り、歴史的文化財として整備していく。

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

手話通訳者の方に伺いました

Q 手話を始めたきっかけは。
A 職場で、ろう者との会話をしたいと思い、手話を学び始めました。(田代)
 高校生の時に手話を学び、興味があったので、子育てが一段落した時に始めました。(戸田)
 手話講習会や手話サークルで学びながら、市の登録試験を受けました。

Q 手話通訳をするうえで、配慮していることは。
A 守秘義務を守ること、安心してろう者が依頼をすることができます。ろう者との信頼関係が大事。また、技術の研鑽、日々努力をしないとと思っています。

Q 手話通訳の難しいところは。
A 講演会・教育・医療などさまざまな現場があり、生活に直接関わるためそれぞれに難しさがあります。人と人をつなぐうえで、関係づくりや雰囲気を壊さないことに気を付けています。相手が手話に対する理解があると助かります。

Q 手話通訳のやりがいは。
A ろう者が会議などで、自分の意見を手話で積極的に出し、社会参加ができた姿を見られたときに感じます。

Q 手話言語条例に期待するところは。
A 聞こえない障がいについて理解が増えると思います。小さい頃からの体験学習が大事。市民が軽い気持ちで手話を使う環境になれば、ろう者も喜ぶのではないかと思います。



戸田さん

田代さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
 市議会の議事録も見られます。
 政務活動費も公開しています。

ふじみ野市議会

検索



12月定例会の傍聴者は118人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定: 3月1日 午前9:30~

請願締切予定: 2月17日 午前10:00

市役所4階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長	伊藤美枝子	副委員長	渡辺 大
委員	加藤 恵一	委員	鈴木啓太郎
委員	小林 憲人	委員	島田 典朗
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書してくれた人
 大井西中3年 佐々木魁人さん

ふじみ野



こういう体験はなかなかできるものではないのでとても良い経験になりました。

高校に進学してからも、積極的に人に役立つことをしていきたいと思います。

日の短さと寒さを感じる師走の候。
 凜と張り詰めた空気の中に、変化の胎動を感じる定例会となりました。

編集後記

本定例会では、文化財保護事業やスポーツ施設管理運営事業などの補正予算をはじめ、空家等対策の推進に関する条例や手話言語条例など、暮らしに寄り添う議案が審議されました。

とりわけ、手話言語条例は、「誰もが安心して暮らし続けることのできるまち」を実現するうえで欠かせない条例です。本条例には、市の責務や市民の役割などが盛り込まれていますので、市の窓口やホームページ等で一読いただければ幸いです。

定例会閉会后、新たなイルミネーションがまちを彩り、そこはかかない温もりがあふれ、笑顔が行き交っていました。

(小林 憲人)